

# 美術館だより

県立美術館企画展案内

## 「アール・デコの世界」

— モダン都市のファッションとデザイン —

会期◎1994年1月15日(土)～3月13日(日)  
会場◎県立美術館

1920年代は、こんにちの都市文化が誕生した時代です。自動車、電化製品が街にあふれ、女性たちは“モダン”なファッションに身を包み、社会に進出していったのです。

この時期のパリに花開いた装飾美術様式が「アール・デコ」です。19世紀末に流行したアール・ヌーヴォーの曲線主体のデザインとは対照的に、直線を主体とした幾何学的な構成、原色を多用したデザインからは、時代のスピードとモダンな都市生活の息吹を感じとることができます。

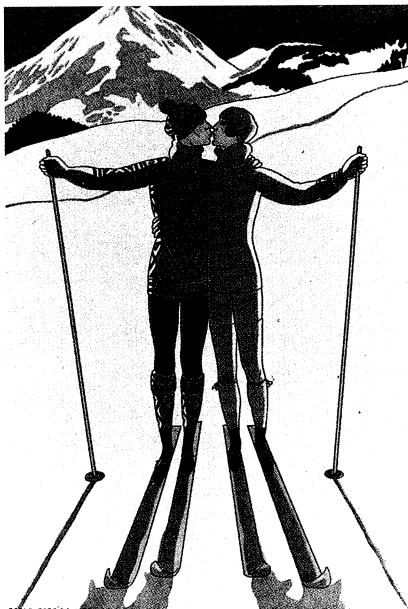
この展覧会では、こうしたアール・デコの魅力を、ファッション・デザインを中心に、ポスター、家具、ガラス、アクセサリなど約400点の作品からさぐっていきます。

### < 観覧料 >

一般・大学生 = 820円(660円) / 高校生 = 610円(460円)  
小・中学生 = 410円(300円) \* ( )内は20名以上の団体料金

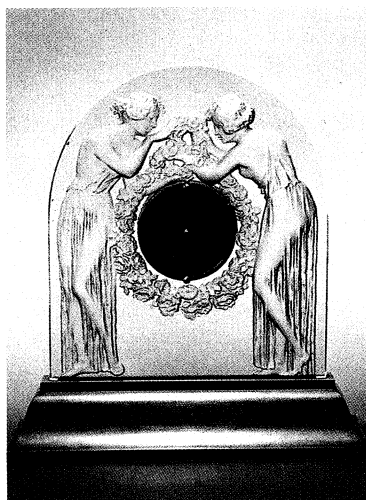


▲ジャンヌ・ランヴァン  
「シルク・ペーパー・タフタのデイ・ドレス」  
1911年

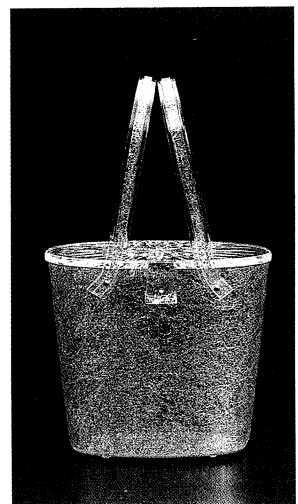


▲ジョルジュ・バルビエ  
「ファルバラ・エ・ファンファルリュシュ」より冬  
1925年

◆ギャラリートーク = 1月28日(金)10:30より企画展示室にて



▲ルネ・ラリック  
「2人の女性」  
1926年



▲「プラスチック・バッグ」  
(1940年代)